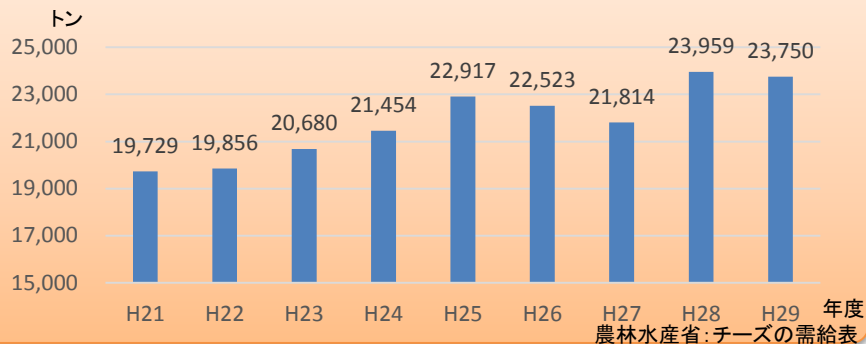


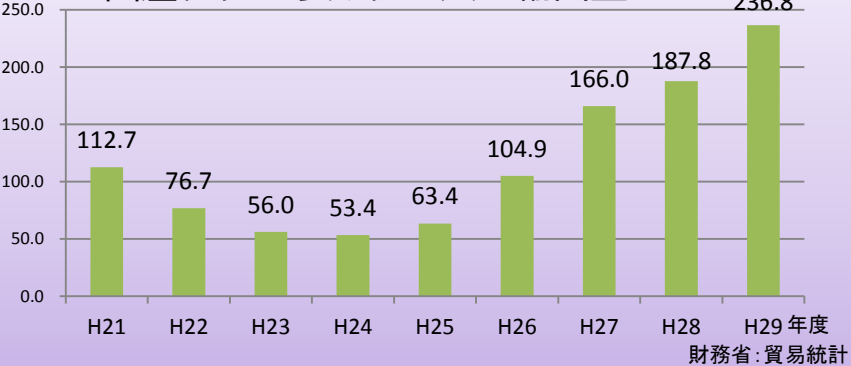
# 国産チーズの状況

- 国産ナチュラルチーズの生産量は平成28年度に過去最高を記録（約2万4千トン）
- 国内のチーズ工房等の数も着実に増加（約150か所（平成22年）⇒ 306か所（平成29年））
- 国産チーズの品質や評価も着実に向上（国際コンクールでの上位入賞等）

国産ナチュラルチーズの生産量（プロセス原料用を除く。）



国産ナチュラルチーズの輸出量



## ○ フランスで開催されたチーズ国際コンクールで上位入賞

- ・ 平成29年6月にフランス・トゥールで開催された「モンディアル・デュ・フロマージュ」というチーズ国際コンクールに、36種類を出品。
- ・ 優れているチーズに贈られるゴールドには、日本から出品した3個のチーズが、また、シルバーにも3個が入賞。

### 【ゴールド】

- ・ リコッタ  
(ダイワファーム)
- ・ 春のおめざめタイム  
(チーズ工房タカラ)
- ・ ココン  
(アトリエ・ド・フロマージュ)



### 【シルバー】

- ・ 東京ブッラータ  
(CHEESE STAND)
- ・ タカラのタカラ  
(チーズ工房タカラ)
- ・ デザートチーズ  
二世古 雪花【sekka】  
パパイア&パイナップル  
(ニセコチーズ工房)



リコッタ (ダイワファーム)



ココン (アトリエ・ド・フロマージュ)



東京ブッラータ (CHEESE STAND)

## <最近の方向性 ～個人からグループへ～>

- ・ 国産ナチュラルチーズ（NC）の製造・衛生技術の向上等を目的として、各地域の代表的なチーズ生産者が集まり、「日本チーズ生産者の会」を発足（平成26年10月）。会員同士の積極的な情報交換等を通じて国産NCの生産振興等を図っている。

## <農林水産省の支援策>

- ・ 国産ナチュラルチーズの競争力強化を図るため、平成29年度補正予算において、国産チーズの競争力強化対策予算を措置し、チーズ工房等による生産性向上（施設整備）と技術研修、国際コンテストへの参加等の品質向上・ブランド化に向けた取組、国産チーズの需要拡大に向けた取組を支援。